

効果概要: 近年の豪雨により排水不良が生じ、湛水被害が頻発したが、排水機場の新設により排水機能を強化することで令和5年7月の大雨では湛水被害は発生しなかった。

府省庁名: 農林水産省

- 実施主体: 福岡県
- 対策の概要:  
排水機場を新設(計画排水能力3.4m<sup>3</sup>/s)
- 事業費: 9.5億円  
(うち5か年加速化対策(加速化・深化分)2.8億円)  
(うち3か年緊急対策による事業費4億円)
- 効果:

久留米市浮島地区は筑後川とその支流に囲まれた低平地であり、地形的な特質から令和2年7月豪雨(48.0mm/h)などの大雨時に排水が効かず湛水している状況であった。

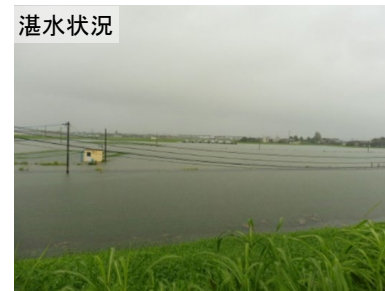
このため、令和5年4月に排水機場を新設し、排水機能を強化し、湛水被害の解消を図った。その結果、令和5年7月豪雨(51.0mm/h)では湛水被害が発生せず、農地及び宅地への湛水被害を未然に防止するとともに、地域の安全・安心の確保に寄与した。

<新設した西ノ島排水機場>



<対策前後の状況>

対策前(令和2年7月豪雨)



浸水想定図(最大48.0mm/h)



対策後(令和5年7月豪雨)



浸水想定図(最大51.0mm/h)

